

三木市の歴史文化資源活用イベント「ミキシル」について

2011年から2019年までの活動記録

"MIKISHIRU", PROMOTING AWARENESS ON LOCAL HERITAGES Documentation of Events in Miki City from 2011 to 2019

川北 健雄 芸術工学部環境デザイン学科 教授
山之内 誠 芸術工学部環境デザイン学科 教授

Takeo KAWAKITA Department of Environmental Design, School of Arts and Design, Professor
Makoto YAMANOUCHI Department of Environmental Design, School of Arts and Design, Professor

要旨

三木市の中心部には、国史跡、歴史街道、町屋及び神社仏閣等に加え、刃物製作などの伝統産業、特色のある商店、共同洗濯場などのコミュニティ施設、鉄道や橋梁といった構築物等、古い時代から近年に至るまでの歴史が生み出した様々な文化資源が蓄積している。

しかしながら現状では、これらの歴史文化資源は、必ずしも一般市民や外来者に十分に認識されているとは言い切れない。そこで、より多くの人々がそれらの歴史文化資源に触れることのできる機会を設けて、それらを新たな視点のもとに活用していくことが、三木市の魅力を高め、一般市民と共に持続的なまちづくりを進めていく上で、たいへん重要な課題のひとつとなっている。

本研究ではこのような認識のもと、三木市の中心部に存在する歴史文化資源に関する基礎的な調査を行なった上で、2011年から2019年まで毎年、「ミキシル」と名付けた三木のことをより多くの人に知ってもらうための親子参加型イベントを中心とした催しを、2月または3月に実施してきた。本報告は、9年間にわたって継続開催してきたこのイベントの企画内容と実施結果を取りまとめたものである。

Summary

In the central area of Miki city, there exist various historical heritages. Following the national historic site of ancient Miki castle, historic streets, old merchant houses, temples and shrines, public outside washing places, a distinctive railroad bridge, and the industry of iron tools, all characterize the history and the culture of the city.

However, the value and the richness of these elements are not recognized widely enough by the citizens and the visitors. Thus, promotion to increase awareness of the people to these heritages has been one of the important subjects of the city to bring forward the urban reorganization and the community building.

With this understanding, we have organized and implemented annual events named "Mikishiru" (which means to know the city of MIKI) for the past 9 years. The main participants of the events have been children and their parents, the players of the society of next generation.

This is the documentation of the events and related activities, reviewing the process of the development year by year.

1. 「ミキシル」の背景と9年間の活動概要

1-1 三木市中心部に残る歴史文化資源

人口減少と高齢化が急速に進展する日本の地方都市では、既存の地域資源に着目し、将来ビジョンに沿った利活用を促進することで、そのまち固有の魅力づくりに繋げていくことが重要となっている。

兵庫県三木市の中心部には、羽柴秀吉の兵糧攻めで著名な三木城趾があり、周辺には、歴史的な街道、町家、邸宅、寺社、各種の史跡などが多く存在する。また、三木は伝統ある金物のまちとしても知られ、いくつかの小規模工場や専門店も中心市街地内に存在する。大正期や昭和期につくられた建造物の中にも、それぞれの時代に特徴的な意匠を備えているものが多い。

しかしながら、まちづくりの視点からは、近年に至るまでそれらの価値が強く認識されてきたとは言い難く、歴史的な街道沿いや中心市街地内の建物の多くが、景観上の配慮に乏しい形で取り壊され、建て替えられてきた。また、新興住宅地などに居住する人たちの中には、三木の中心市街地をほとんど訪れたことが無いという人もいる。

1-2 活動の枠組み

一方で、三木市と神戸芸術工科大学は2009年に連携協力協定を締結し、それ以前からも個別に進めてきた、まちづくりやものづくりに関する様々な協力を継続的に推進していくこととなった。2010年度以降は中心市街地の歴史文化資源に関する調査やそれらの活用についての様々な協力を行っており、ここで紹介する親子参加型のイベント「ミキシル」も、そのような連携事業のひとつとして始まった。

より具体的な枠組みとしては、第1回「ミキシル」(2011年3月に開催)は三木市からの2010年度の神戸芸術工科大学受託研究として、第2回～第9回「ミキシル」(2012年3月、2013年3月、2014年2月、2015年2月、2016年2月、2017年2月、2018年2月、2019年2月に、それぞれ開催)は2011年度から2018年度まで、毎年三木市文化遺産活性化実行委員会からの神戸芸術工科大学受託研究として実施した。

上記の通り、最初のイベントが実施されたのは2011年

3月のことであるが、この際は他にもいくつかの関連イベントが同時開催されることとなり、それらの総称として、「ミキシル(三木のことをもっと知るためのプロジェクト)」という名称を用いることになった。それ以降は毎年、神戸芸術工科大学の教員が学生たちと一緒に企画した公開参加型の三木の歴史文化資源活用イベントに、「ミキシル」という名前をつけて実施している。

1-3 各年に実施した「ミキシル」の概要

最初の2011年にはスタンプラリーと民具の展示を行い、2回目の2012年にはスタンプラリー用の「パスポート」を制作した。3回目の2013年には、参加者による情報発信も意図して、子どもたちによる歴史的建築物等の写真撮影会と、その展示会を行った。4回目の2014年には、「ミキシルCM」と名付けたインターネット公開用の、まちの名所を紹介する動画の制作、「ミキシル新聞」と名付けた、まちの中にある様々な場所の紹介記事を集めて大判の地図上に貼付けた壁新聞の制作、および「パスポート」を用いたスタンプラリーの3つの企画を実施した。5回目となる2015年には、スタンプラリーをクイズ形式のイベントと組合せて、まちへの興味をさらに深めてもらえるような工夫をした。また、三木甲冑倶楽部や神戸大学の方々の協力によるイベントも組み入れた。

6回目となる2016年は、従来に比べて実施予算がやや縮小されたことも踏まえ、無理なく活動が継続される方法を確立することに重点をおいた。その結果、前年に行い評価も高かったクイズを組み合わせたスタンプラリーを軸として、そこに新たな体験イベント等を組み入れた。2017年2月開催の7回目および2018年2月開催の8回目の「ミキシル」も、それまでに蓄積してきたノウハウを活用して、スタンプラリーとまちなかの各所における体験イベントの組み合わせを基本とした企画内容で実施した。そして9回目にあたる2019年2月にも、親子参加型の1日イベントを開催したが、その前のプレイベントとして、湯の山街道周辺の古い写真を集めて展示しつつ来訪者に語り合ってもらう「昔語りのつどい」を2018年12月にも2回にわたって開催し、会場として提供していただいた古民家の利活用の機会とした。

1-4 歴史文化資源の調査と再生保存

本報告は、毎年行った親子参加型の1日イベントの記録を主な内容としているが、その実施の枠組みとなっている受託研究および関連の研究活動においては、三木市中心部における歴史文化資源の調査や、さまざまな資料の収集を並行して行った。また、イベント時には、それらの歴史文化資源を活用することで広く一般の人々の認識を高め、イベント開催のための整備が、その後の再生保存と継続的な活用のきっかけとなることをめざしてきた。

2010年度から4年間にわたって実施した、まちの歴史文化資源調査では、三木城址周辺に広がる旧市街を対象に、積み重ねられたまちの歴史を感じさせる物件を歴史文化資源として整理・記録し、わかりやすい形で示して、三木の歴史文化への認知を広げ、継続的なまちづくりへと繋げていく手法を探った¹⁾。

また、個々の歴史的建造物の保存活用を目的とした学生参加行事を機会あるごとに開催した。2012年8月には、国登録有形文化財の小河家住宅で宿泊体験会を実施し、当時未整備であった女中部屋等の掃除や、かつて女中として働いていた方への聞き取り調査を行った。2013年11月～12月には、「旧小河家別邸の保存と活用をする会」および、ひょうごヘリテージ機構²⁾の方々と一緒に、敷地を取り囲む板壁の補修作業を行った(図1)。2015年6月にも、ひょうごヘリテージ機構の方々と一緒に、後(2018年)に国の登録有形文化財となる旅亭文市楼大広間の片付け掃除と改修を行った(図2)。

2018年には、湯の山街道が東条街道に接続する交差点



図1 小河家住宅の改修(壁塗り・障子貼り)作業の様子



図2 旅亭文市楼の改修(壁塗り・障子貼り)作業の様子

の南西に建つ町家の保存活用についてヘリテージマネジャーの清水克俊氏から相談を受けた。所有者の方にもヒアリングを行いご快諾を得て、翌年の「ミキシル」の主要な会場として利用させていただくこととなった。また、そのプレイベントという位置付けで、2018年12月に「昔語りのつどい」と題した三木市中心部の古写真展示および1日カフェを開催し、身近な歴史についての情報収集と合わせて、近隣の方々と行政ならびに専門の方々との間の交流の機会とした(図3)。

昔語りのつどい

ミキシル9
プレイベント



平成30年
第1回：12月9日(日)
第2回：12月23日(日)

昔の写真展示&1日カフェ(無料)
 両日共 午後1時～3時(随時来訪可)

三木地区の歴史・文化に関する情報を集めています。昔のことをご存知の方、学生たちと、楽しくお茶を飲みながら、ぜひ、いろんな話をお聞かせください。

主催：一般社団法人三木市観光協会 0794-83-8400
 共催：三木市(観光振興課) 0794-82-2000 (代)
 協力：神戸芸術工科大学・三木城下町まちづくり協議会



旧山理商店(↓)にて

コチラです(沢尾文具店さん向かい)



図3 「昔語りのつどい」案内チラシ

2. 各年の実施内容

2-1 「ミキシル」2011



図4 「ミキシル」2011 チラシ

1) 実施概要

実施日：2011年3月23日(水)～3月27日(日)

担当教員：川北健雄、長濱伸貴、山之内誠、金子晋也

実施イベント：

- ・民具展示「ぬくもりのいえ」(全期間)
- ・Play Town MIKI! (3月26日)
(広報等で市と連携した同時開催行事)
- ・付城のろしりレー(見学) (3月26日)
- ・歴史講演会「三木合戦がのこした歴史遺産」(3月26日)
- ・回想法「むかし遊び」(3月27日)
- ・歴史文化を探るセミナー(3月27日)

主会場：三木市役所、金物資料館、稲見酒造、常楽寺、清水の洗濯場、旧小河家別邸、旧玉置家住宅

参加人数：

- ・民具展示「ぬくもりのいえ」：283人(5日間来場者数)
- ・Play Town MIKI! 大人33人、子ども46人、計79人

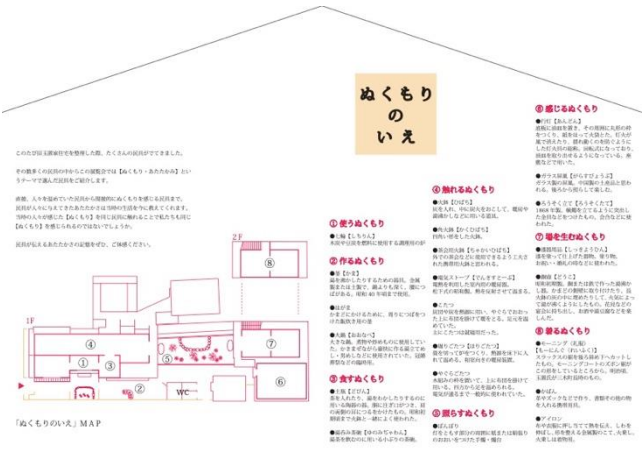


図5 「ぬくもりのいえ」会場案内



図6 「Play Town MIKI!」会場案内

2) イベント内容

初年度の2011年は、三木市の文化遺産を再発見することをテーマに据え、市が開催する複数の歴史文化行事と開催時期を合わせ、開催場所についても相互に調整し、それらと連携した、文化遺産活用イベント全体を「ミキシル」と名付けて実施した。

神戸芸術工科大学が主体となって実施したイベントは大きくは2つに分かれ、ひとつは旧玉置家住宅を会場とした展示会「ぬくもりのいえ」、もうひとつは古い建物等が多く残る三木市の中心部を親子でめぐり歩くイベントPlay Town MIKI! である。

「ぬくもりのいえ」では、2002年に国の登録文化財に登録された「旧玉置家」を会場として、この建物の整備時に整理された多くの民具を展示した。

Play Town MIKI! では、6箇所スタンプを設置し、各場所でなんらかの体験をするとスタンプがもらえる仕組みにして、ゲーム感覚でまちを巡り歩いてもらった。

2-2 「ミキシル」2012



図7 「ミキシル」2012 チラシ

1) 実施概要

実施日：2012年3月4日(日)

担当教員：川北健雄、長濱伸貴、山之内誠、金子晋也、三友奈々、不破正仁

実施イベント：

(神戸芸術工科大学が主体となって実施したもの)

・ Play Town MIKI! 2012

(広報等で市と連携した同時開催行事)

・ 歴史講演会と現地見学ツアー

主会場：旧玉置家住宅、金物資料館、湯の山街道茶屋、清山本砲製造所、神戸電気鉄道粟生線、下町の土蔵群

参加人数：

・ Play Town MIKI! : 保護者 52 人、子ども 58 人、計 110 人

2) イベント内容

Play Town MIKI! については、前年度は 7 箇所の見学地を設定したのに対して、今年度は 6 箇所の「公開ス

ポット」で何らかの体験をしてもらうのに加えて、16 箇所の「おもしろスポット」を設定し、普段見過ごしてしまいがちではあるが、良くみると興味深い特色があるような場所に立ち寄りながら、まち全体をきめ細かく巡ってもらえるようにした。また、選定した「公開スポット」や「おもしろスポット」の歴史文化的価値を解説した記録を、今後にも役立つ資料として残すことを意図して、6 箇所の「公開スポット」と 16 箇所の「おもしろスポット」すべてについて、写真と簡単な説明文を掲載した「パスポート (MIKI-CITY PASSPORT)」を制作し、それがスタンプ帳としての役割を果たすようにした。



図8 パスポートの「公開スポット」掲載ページ



図9 パスポートの「おもしろスポット」掲載ページ

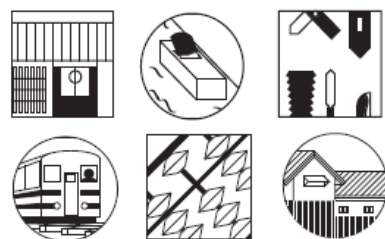


図10 パスポート用スタンプのデザイン

2-3 「ミキシル」2013

3月20日(水・祝)イベント開催!

ミキシル

~三木のことをもっと知るプロジェクト~

「ミキシル~三木のことをもっと知るプロジェクト~」とは、三木市に残る歴史文化遺産を知るイベントの総称です。普段見られない歴史文化に触れ、より記憶に残るであろう見学や体験などを通じ、まちの人や訪れた人に町の魅力を伝え、知ってもらうプロジェクト(Part3)です。

Play Town MIKI! 2013 集まれ! キッズカメラマン
親子で巡る三木のレトロな魅力スポット
開催日: 3月20日(水・祝)
時間: 10:00~15:00
集合: 旧玉置家住宅

3/21 3/24 ミキシル写真館 in 旧小河家別邸
Play Town MIKI! 2013 で撮影したオリジナル写真を展示公開します。
期間: 3月21日(木)~24日(日)
時間: 10:00~16:00
会場: 旧小河家別邸

三木国旅券配布!

●アクセス情報
線: 山陽自動車線経由・三木小野下 下車 10分
駅通: 神戸電鉄生野線「三木上の丸駅」下車 徒歩7分
バス: JR三ノ宮駅東・神姫バスターミナルから「西園」行に乗り、「上の丸」バス下車、徒歩約7分
●問い合わせ先
三木市産業環境部観光振興課
電話: (0790) 82-2000
住所: 三木市上の丸町1-0-30
URL: <http://www.city.miki.lg.jp/index3.html>
●お申込みについて
裏面の申込書に必要事項を記入の上、お申込みください。
●主催: 三木市文化遺産活性化実行委員会 ●後援: 三木市・三木市教育委員会・三木市観光協会
●協力: 神戸芸術工科大学・三木城下町まちづくり協議会

図 11 「ミキシル」2013 チラシ

1) 実施概要

実施日: 2013年3月20日(水・祝)~3月24日(日)
担当教員: 川北健雄、長濱伸貴、山之内誠、金子晋也、不破正仁
実施イベント:

- ・Play Town MIKI! 2013 集まれ! キッズカメラマン (3月20日(水・祝))
 - ・ミキシル写真館 (3月21日(木)~3月24日(日))
- 主会場: 旧玉置家住宅、旧小河家別邸、旧三木高等女学校
参加人数:
- ・Play Town MIKI!: 保護者 53 人、子ども 78 人、計 131 人
 - ・ミキシル写真館: 4 日間の来訪者合計 170 人

2) イベント内容

Play Town MIKI! は、1 日イベントの撮影会として、3月20日(水・祝)に実施した。撮影対象は、江戸後期~明治に建設された旧玉置家住宅、明治末期に造営され

た旧小河家別邸、そして大正に開校し昭和に現存の建物が増築された旧三木高等女学校という、3つの歴史的な建造物および庭園である。前年度作成したパスポートも配布し、3箇所の撮影会場をまわりながら、スタンプラリー形式で、それら以外の場所にも自由に立ち寄ってもらうようにした。

ミキシル写真館では、旧小河家別邸内で未整備につき非公開であった番人小屋、土間通路、蔵を清掃の上、展示会場として活用し、55 人の子どもたちが撮影した総計 312 枚の写真を、撮影会の当日中にプリントアウトして展示した。また、神戸芸術工科大学の教員 3 人が審査員となって、「ベストショット賞」12 作品を選定し、それらの中から、さらに「最優秀賞」1 作品、「優秀賞」2 作品を選定した。また、これらの写真を用いて翌年度、撮影会場ごとの絵はがきを作成し、観光協会等で配布した。



図 12 ミキシル写真館 (旧小河家別邸、番人小屋にて)



図 13 旧子どもたちの写真で制作した絵はがき (旧玉置家)

2-4 「ミキシル」2014



図 14 「ミキシル」2014 チラシ

1) 実施概要

実施日: 2014年2月23日(日)

担当教員: 川北健雄、長濱伸貴、山之内誠、不破正仁、小菅瑠香、中村卓

実施イベント (Play Town MIKI! 2014 として):

- ・ まち歩きスタンプラリー
- ・ みんなで作ろう! ミキシル CM
- ・ みんなでスクープ! ミキシル新聞

主会場: 旧玉置家住宅、旧三木高等女学校

参加人数: 保護者 21 人、子ども 29 人、計 50 人

2) イベント内容

「パスポート」を用いたまち歩きスタンプラリーに加え、参加者に積極的に三木の魅力の情報発信を行ってもらうことを意図して、「ミキシル CM」と名付けたインターネット公開用の、まちの名所を紹介する動画の制作を行った。さらに、「ミキシル新聞」と名付けた、まちの中にある様々な場所の紹介記事を集めて大判の地図上に貼

り付けた壁新聞の制作を行った。



図 15 「ミキシル CM」の撮影風景 (清水の洗濯場にて)



図 16 「ミキシル CM」 (上: 神戸電鉄曲線橋編、下: 旧三木駅舎編)

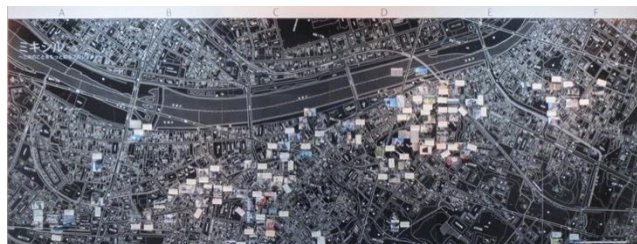


図 17 「ミキシル新聞」 (上: 全体、下: 部分)

2-5 「ミキシル」2015



図 18 「ミキシル」2015 チラシ

1) 実施概要

実施日：2015年2月22日(日)

担当教員：川北健雄、山之内誠、不破正仁

実施イベント (Play Town MIKI! 2015 として)：

- ・ぶらり探検! まち歩きスタンプラリー
- ・もっと発見! よりみちクイズ

主会場：紫雲館剣道場 (受付とゴール)、旧玉置家住宅、三寿ダ刃物製作所、湯の山街道茶屋、旧県立三木高等女学校舎、光川浪花楼、旧小河家別邸、旅亭文市楼、旧三木駅舎

参加人数：保護者 31 人、子ども 41 人、計 72 人

2) イベント内容

- ・ぶらり探検! まち歩きスタンプラリー

従来の内容を一部更新し、8箇所「定番スポット」と17箇所「おもしろスポット」を掲載した「MIKI-CITY PASSPORT」を持って、親子でまちをめぐり歩いてもらった。

- ・もっと発見! よりみちクイズ

まち歩きの際、参加者により主体的に周囲の事柄に関心を払ってもらい、ゲーム感覚でスタンプラリーを楽しんでもらうことを意図して、今回は、すべての「定番スポット」において、場所ごとの歴史文化をテーマとしたクイズを出題し、その次に訪れる「定番スポット」で答合わせをする、というクイズラリーの仕組みを取り入れた。

| ルート表 / チェックシート | ルート表 / チェックシート | ルート表 / チェックシート |
|--|--|--|
| 6. 旧小河家別邸 <input type="checkbox"/> | 3. 湯の山街道茶屋 <input type="checkbox"/> | 2. 三寿ダ刃物製作所 <input type="checkbox"/> |
| 7. 旅亭文市楼 <input type="checkbox"/> | 4. 旧県立三木高等女学校 <input type="checkbox"/> | 1. 旧玉置家住宅 <input type="checkbox"/> |
| 5. 光川浪花楼 <input type="checkbox"/> | 2. 三寿ダ刃物製作所 <input type="checkbox"/> | 6. 旧小河家別邸 <input type="checkbox"/> |
| 8. 旧三木駅舎 <input type="checkbox"/> | 1. 旧玉置家住宅 <input type="checkbox"/> | 7. 旅亭文市楼 <input type="checkbox"/> |
| 3. 湯の山街道茶屋 <input type="checkbox"/> | 6. 旧小河家別邸 <input type="checkbox"/> | 5. 光川浪花楼 <input type="checkbox"/> |
| 4. 旧県立三木高等女学校 <input type="checkbox"/> | 7. 旅亭文市楼 <input type="checkbox"/> | 8. 旧三木駅舎 <input type="checkbox"/> |
| 2. 三寿ダ刃物製作所 <input type="checkbox"/> | 5. 光川浪花楼 <input type="checkbox"/> | 3. 湯の山街道茶屋 <input type="checkbox"/> |
| 1. 旧玉置家住宅 <input type="checkbox"/> | 8. 旧三木駅舎 <input type="checkbox"/> | 4. 旧県立三木高等女学校 <input type="checkbox"/> |

図 19 クイズラリー用の3種類の訪問順指示カード

また、神戸大学文学部の方たちの協力を得て、旧玉置家別邸では古文書調査の様子を見学できるようにした。紫雲館剣道場では、三木甲冑倶楽部の方々の協力を得て、甲冑を着ての撮影会を実施した。さらに、昨年度に続けて、「ミキシル CM」の撮影を、三寿ダ刃物製作所、光川浪花楼、旅亭文市楼の3箇所で行った。



図 20 甲冑撮影会



図 21 「ミキシル CM」(光川浪花楼編)

2-6 「ミキシル」2016



～三木のこともっと知るプロジェクト～
ミキシル6
「Play Town MIKI! 2016」

「ミキシル～三木のこともっと知るプロジェクト～」とは、三木市に誇る歴史文化遺産を知るイベントの総称です。普段見過ごしがちな歴史文化に触れ、印象的な見学や体験を通じて、まちの人や訪れた人に町の魅力を伝え、知ってもらうプロジェクト(Part.6)です。

今年も、三木国バスポートを利用したまち歩きスタンプラリー、クイズ、三木金物体験!!
 三木のまちの新たな魅力を親子で楽しく再発見してみませんか?

- ぶらり探検! まち歩きスタンプラリー
 まち歩きスタンプラリーのスタートを見ながら、定番スポット・おもしろスポットを回ってスタンプを集めよう!
- もっと発見! よりみちクイズ
 クイズの答えを探していたら、あら不思議、三木の新たな魅力に出会えます! 三木国バスポートで紹介しているスポット以外も、おもしろそうなスポットがないか親子で探してみよう!
 クイズ全問正解で「三木まちなみ路上認定プレート」をゲットしよう!
- 試してみよう! 三木の金物
 三木の伝統である金物の「こて」を使って絵や手形を作ろう!
 さらに「かんざし」で木を削る貴重な体験も!
- 兜をかぶってハイチーズ「甲冑撮影会」
 戦国時代の甲冑姿に姿身してみませんか!
 「三木甲冑倶楽部」の立派な甲冑で撮影しよう!
- みんなで発信「ミキシルCM」
 「旧玉置家住宅」のCMを撮影します! 参加はご自由です。興味のある方は是非ご協力ください!
 ※ミキシルCMとは…インターネット動画で三木の魅力を発信します

そんな「旧玉置家住宅」では…
 ■旧玉置家住宅下取り文書作業展～旧玉置家住宅の機の中から発見された形紙～
 三木の歴史的文化遺産である旧玉置家住宅の下取りから発見された形紙の複製を展示公開します。
 期間2月28日～3月13日

■玉置家のお蔵さま展
 旧玉置家住宅のお蔵さまをはじめ、春を告げるお蔵飾りが続々とお持ちしています。
 期間2月28日～3月6日

●アクセス情報
 車：山陽自動車線三木駅より徒歩10分
 鉄道：ゆめバス三木上丸の丸下車、徒歩約7分
 バス：JR三木駅東口、神姫バスターミナルから「南郷」行に乗り、「2の丸」バス停下車、徒歩約7分

●主催 三木市文化遺産活用推進実行委員会
 ●後援 三木市・三木市教育委員会
 一般社団法人三木市観光協会
 神戸芸術工科大学
 三木城下町まちづくり協議会
 三木甲冑倶楽部

●定員 親子50組(申込先着順)
 *定員超過しついでに場合は追加参加も受け付けます。

●参加費 無料

●お申込みについて
 参加申込みは、問い合わせ先までご連絡ください。

●問い合わせ先
 三木市観光協会
 三木市観光協会
 電話：07943-2900
 住所：三木市上丸の丸1-0-3
 URL: <http://www.city.miki.jp/j/index.html>

図 22 「ミキシル」2016 チラシ

1) 実施概要

実施日：2016年2月28日(日)

担当教員：川北健雄、山之内誠、中村卓

担当特別研究員：丸本祥子

実施イベント(Play Town MIKI! 2016 として)：

- ・ぶらり探検! まち歩きスタンプラリー
- ・もっと発見! よりみちクイズ
- ・試してみよう! 三木の金物
- ・兜をかぶってハイチーズ「甲冑撮影会」
- ・みんなで発信「ミキシルCM」

主会場：紫雲館剣道場(受付とゴール)、旧玉置家住宅、三寿ダ刃物製作所、湯の山街道茶屋、旧県立三木高等女学校舎、光川浪花楼、旧小河家別邸、旅亭文市楼、旧三木駅舎

参加人数：保護者32人、子ども45人、計77人

2) イベント内容

まち歩きスタンプラリー、よりみちクイズ、「甲冑撮影

会」、「ミキシルCM」は、いずれも前年度と同様の内容であるが、訪問場所のうちの「旧玉置家住宅」と「旧県立三木高等女学校舎」では、三木の特産である金物の中から鋺と鉋を取り上げ、それらを用いた体験イベントを組み込んだ。



図 23 まち歩きスタンプラリー(三寿ダ刃物製作所にて)



図 24 カンナ削り体験(旧玉置家住宅にて)



図 25 コテ塗り体験(旧三木高等女学校舎にて)

2-7 「ミキシル」2017

～三木のことをもっと知るプロジェクト～

ミキシル7

2月19日(日)
10:00～15:00
イベント開催!!

Play Town MIKI! 2017!
「ミキシル」三木のことをもっと知るプロジェクトは、三木市に誇る歴史文化遺産を知るイベントです。皆でまち歩きをして色々な体験をしながら楽しく三木市について学ぼう!今年もスタンプラリー、新聞作り、カルタ遊び、コースター作り、CM作りなど盛り盛りたくさん!三木市の新たな魅力を親子で楽しく再発見しませんか?

●ぶらり探検!まち歩きスタンプラリー
オリジナルパスポート(まち歩きガイド)を使って、スタンプを集めよう!

●遊んで知ろう!まちなみカルタ
まち歩きスポットがカルタになったよ!
みんな楽しんで!

●みんなで発信!ミキシルCM
「みき歴史資料館」の紹介CMを一躍に作るよ!
出演・参加は自由です。

●特ダネ発見!ミキシル新聞
街の魅力を自由に描こう!
あなたの記事が載った素敵な新聞をプレゼント!

●つくってみよう!オリジナルコースター
世界に一つだけのコースターを作りながら、かつての伝統産業であった三木の染形について知ろう!

●みんなでほっこり!ふるまいぜんざい
つがれたら、白玉団子でひと休み、あつたか!いぜんざいを召し上がれ!

三木国パスポートがもらえるよ!

お楽しみ抽選会にも参加できるよ!

●お申し込みについて
申し込みは先までご連絡ください。
●定員/親子50組(申込先着順)
●定員に達していない場合は当日参加も受け付けます。
●参加費/無料

●お問い合わせ先
一般社団法人三木市観光協会
電話: (0794) 83-8400 住所: 三木市本町2-2-10
http://www.mikishi-kankou.com/
三木市豊かな暮らし部観光課
電話: (0794) 82-2000 住所: 三木市上の丸町10-30
http://www.city.miki.lg.jp/

●アクセス情報
車: 山陽自動車線自由・三木小野10下車10分
徒歩 山陽自動車線三木上・上の丸町下車、徒歩7分
バス: JR三宮駅東・神姫バスターミナルから「西園」行に乗り、「上の丸」バス停下車、徒歩約7分

【主催】一般社団法人三木市観光協会
【後援】三木市・三木市教育委員会
【協力】神戸芸術工科大学
三木城下町まちづくり協議会



図 26 「ミキシル」2017 チラシ

1) 実施概要

実施日: 2017年3月4日(日)

担当教員: 川北健雄、山之内誠、中村卓

実施イベント(Play Town MIKI! 2017として):

- ・ぶらり探検!まち歩きスタンプラリー
- ・遊んで知ろう!まちなみカルタ
- ・みんなで発信!ミキシルCM
- ・特ダネ発見!ミキシル新聞
- ・つくってみよう!オリジナルコースター
- ・みんなでほっこり!ふるまいぜんざい

主会場: 旧玉置家住宅(受付とゴール)、三寿ダ刃物製作所、湯の山街道茶屋、みき歴史資料館、光川浪花楼、旅亭文市楼

参加人数: 保護者35人、子ども43人、計78人

2) イベント内容

前年度までと同様に、パスポート形式の案内冊子を用いたスタンプラリーを軸とし、そこに組み入れ可能ない

くつかの体験イベントを組み合わせたものを、「Play Town MIKI! 2017」の名称で実施した。

まち歩きスタンプラリーと「ミキシルCM」については、従来の方法を踏襲した。「遊んで知ろう!まちなみカルタ」は光川浪花楼、「つくってみよう!オリジナルコースター」は旅亭文市楼を会場として、それぞれ普段は一般公開されていない空間を体験してもらいながら実施した。



図 27 「ミキシルCM」のワンシーン(みき歴史資料館にて)



図 28 「まちなみカルタ」の様子/光川浪花楼2階大広間にて



図 29 「オリジナルコースター」制作の様子/旅亭文市楼にて

2-8 「ミキシル」2018



図 30 「ミキシル」2018 チラシ

1) 実施概要

実施日：2018年2月25日(日)

担当教員：川北健雄、山之内誠

実施イベント(Play Town MIKI! 2018 として)：

- ・飛ばせ！自分だけの凧を三木の空に！
- ・ヒーローショー「がんばれ！かんだんと仲間たち」
- ・金物を探せ！「み一つけた！かんだんのおともだち」
- ・見つけて！クイズマン
- ・甲冑を着てみよう！
- ・Live 写真展示

主会場：旧玉置家住宅(受付とゴール)、美囊川河川敷、みの川会館横駐車場、金物資料館、湯の山街道茶屋、旧小河家別邸、ナメラ商店街

参加人数：保護者 48 人、子ども 61 人、計 109 人

2) イベント内容

今回からは「パスポート」を B4 サイズの紙の表面に施設紹介、裏面に地図を印刷して八つ折りにした形式のも

のに変更した。各所で実施した体験イベントを「ミッション」と位置付け、参加するごとにスタンプを押して、ポイントを獲得できるようにした。

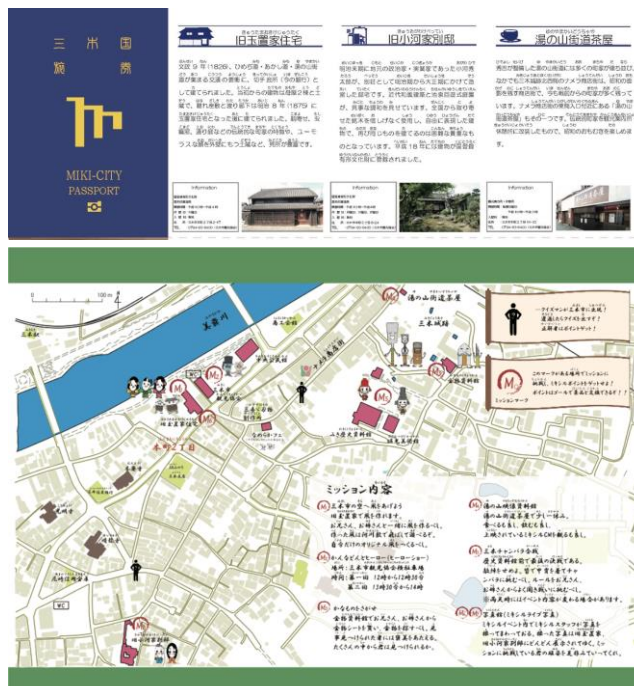


図 31 八つ折り形式の「パスポート」(表面上半分と裏面)



図 32 飛ばせ！自分だけの凧を三木の空に！



図 33 甲冑を着てみよう！チャンバラ記念写真

2-9 「ミキシル」2019

ミキシル 9

～三木のことをもっと知るプロジェクト～

2月24日(日)
10:00～15:00
イベント開催!

集合・受付 10:00～11:00
旧玉置家住宅
(住所:三木市本町2丁目2-17)

Play Town MIKI! 2019

「ミキシル」は三木市の歴史文化を知るイベントで今年が9年目の開催です。Play Town MIKIは、まちを楽しく歩き回りながら、様々な体験を通して、ゲーム感覚で三木の魅力を発見する、親子参加型のプログラムです。

今回は、各スポットでクイズに答えると、「ミキシルカード」がもらえる。カードをたくさん集めると、ゴールまでいって帰って!

- **ナメラの謎に挑め!**
君たちは「冒険者」だ! たくさんさんのスポットをまわってクイズに挑戦し、歴史の謎を解き明かせ! お店の人たちともハイタッチ!
- **ヒーローショー「かんざんと仲間たち」**
三木市に悪者が現れた! みんなで応援して、三木を守ろう! 写真撮影もできるよ。
場所: 観光協会横 駐車場
時間: 1部 12:00～12部 13:30～(各20分を予定)
- **カンナ削りに挑戦!**
冒険には、道具を使いこなす技も必要だ。君は名人になれるか!
場所: 観光協会横 駐車場
時間: 1部 12:00～12部 13:30～(各20分を予定)
- **甲冑大作戦**
三木合戦が現代に蘇る? 兜をかぶって写真を撮ろう! 商店街に出現する武者のクイズにも挑戦だ!

● **お籠り体験スタンプラリー**
旧玉置家住宅ほか周辺施設にて同時開催!
(2月24日～3月3日/集合せよ! あき歴史資料館)

● **回復スポット**
・なめらかな
・湯の山街道茶屋
疲れたら、元気をチャージしよう!
お弁当の持ち込みもできるよ!

● **昔語り写真展** (旧山理商店)
昭和以前の写真を見てクイズに挑戦!
君も三木博士になれるか?

お申込みについて
・定員: 親子100組(申込先着順)
・定員に達していない場合は当日参加も受け付けます。
・参加費/ 無料

● アクセシビリティ
山陽自動車道経由・三木小野10下車10分
徒歩 神戸鉄道線生線「三木上の丸」下車、徒歩7分
バス: JR三木駅東・神姫バスターミナルから「原宿」行に乗り、「上の丸」バス停下車、徒歩約7分

● 主催: 三木市文化遺産活性化実行委員会
● 共催: (一社)三木市観光協会、三木市(観光振興課)
● 後援: 三木市教育委員会

● 申込・問い合わせ
・一般社団法人三木市観光協会(火曜定休)
電話: (0794) 83-8400 住所: 三木市本町2-2-10
http://www.city.miki.jp/

● 協力: 神戸芸術工科大学
三木城下町まちづくり協議会
三木市教育委員会

■ この事業は、文化庁からの『文化芸術振興補助金(文化遺産総合活用推進事業)』によるものです。

図 34 「ミキシル」2019 チラシ

1) 実施概要

実施日: 2019年2月24日(日)

担当教員: 川北健雄、山之内誠

実施イベント(Play Town MIKI! 2019として):

- ・ナメラの謎に挑め!
- ・ヒーローショー「かんざんと仲間たち」
- ・カンナ削りに挑戦!
- ・甲冑大作戦
- ・昔語り写真展

主会場: 旧玉置家住宅(受付とゴール)、みの川会館横駐車場、紫雲館剣道場、湯の山街道茶屋、ナメラ商店街の12店舗、山理商店

参加人数: 保護者54人、子ども71人、計125人

2) イベント内容

前年度と同じく、パスポートの形をした折りたたみ形式のマップを作成し、クイズラリー形式の枠組みを用いて、親子参加型のまち歩きを実施した。今回はス

タンブを押す代わりにナメラ商店街の12店舗を含む「ミキシルスポット」と名付けた体験イベントの実施箇所で、「ミキシルカード」と名付けたカードを配布し、15枚すべてのカードを集めてつなぎ合わせると、このまち歩きラリー全体を通したクイズとなっている「ナメラの謎」の答が現れる、という仕掛けを取り入れた。



図 35 「パスポート」裏面のクイズラリー用マップ



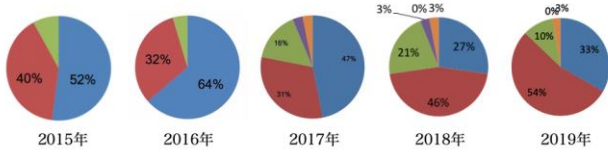
図 36 「ミキシルスポット」掲示ポスターと商店街での様子

今回の「ミキシル」では、ナメラ商店街の方々にご協力いただき、子どもたちがお店を訪れた際にハイタッチをした上でクイズを出題してもらい、交流を楽しんでもらった。また、昔語り写真展とカンナ削り体験を行った山理商店は、最も古い部分が江戸時代に建てられた可能性のある昭和後期まで続いた商店で、今回のイベントが、長く使用されずにいた建物に再び多くの人々が訪れて、その空間を体験できる貴重な機会となった。

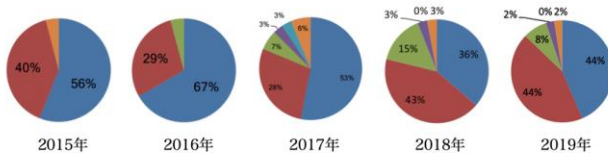
2-10 参加者アンケートの結果

9年間にわたって実施した「ミキシル」では、毎回、参加して下さった方々にアンケートに答えていただき、その結果を後のイベント企画の改善に反映するようにしてきた。アンケートは子ども対象のものと保護者対象のもの2種類を実施してきたが、保護者対象のアンケートのうち6つの設問については2015年以来同じ内容としてきた。以下にそれらの結果を紹介する。

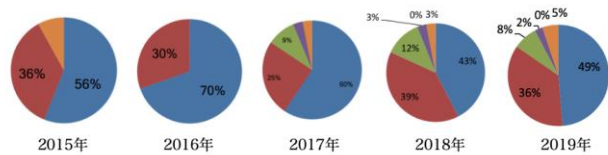
1) まちの歴史や文化に対する知識や理解が深まった。



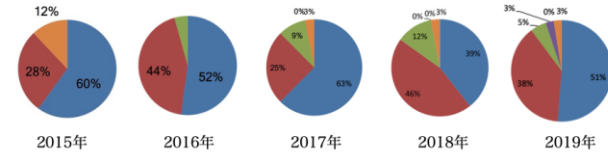
2) まちの歴史や文化を伝えている場所を、より身近に感じるようになった



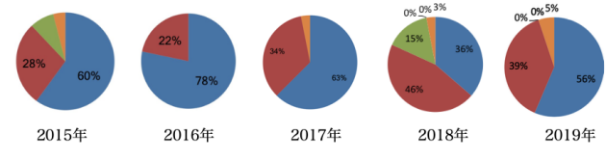
3) 新たなまちの魅力を発見することができた。



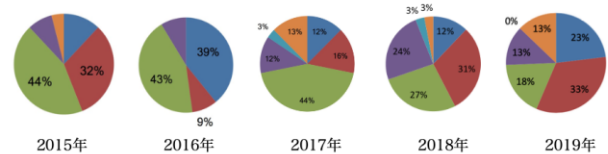
4) まちの歴史や伝統を、子孫に大切に伝えていきたいと感じるようになった。



5) Play Town MIKI!のようなワークショップに、今後も積極的に参加してみたいと感じるようになった。



6) Play Town MIKI!のようなワークショップの企画運営にも、積極的に関わってみたいと感じるようになった。



凡例 ①そう思う ②ややそう思う ③普通 ④あまり思わない ⑤全く思わない ⑥無回答

図 37 保護者アンケートの結果 (2015年-2019年)

これらの設問は、いずれも実施イベントがまちの歴史

と文化に関する認識や、Play Town MIKI! のようなワークショップへの参加意識にどのような変化を及ぼしたかを尋ねたものである。年によって、実施イベントの内容も参加者も異なるが、継続的に行ってきたこのイベントが、参加して下さった方々に、総じてどのように受け止められてきたのかを、この結果から知ることができる。

「まちの歴史や文化に対する知識や理解が深まった」、「まちの歴史や文化を伝えている場所を、より身近に感じるようになった」、「新たなまちの魅力を発見することができた」といった質問に対して、「そう思う」または「ややそう思う」と答えた人の合計割合は、最も少ない場合で78%となっており、まちの歴史文化に対する人々の認識を高めるという「ミキシル」の主目的は、とても良く達成されたと解釈することができる。

また、「まちの歴史や伝統を、子孫に大切に伝えていきたいと感じるようになった」、「Play Town MIKI! のようなワークショップに、今後も積極的に参加してみたいと感じるようになった」という、参加者の今後の行動に影響する意識の変化を問う質問においても、「そう思う」または「ややそう思う」と答えた人の合計割合は、最も少ない場合で82%と、たいへん高い水準となっている。

最後の「Play Town MIKI! のようなワークショップの企画運営にも、積極的に関わってみたいと感じるようになった」という、より主体的な行動に結びつく可能性を問う質問に対しては、「そう思う」または「ややそう思う」と答えた人の合計割合は、少ない年で28%、多い年で56%となっている。用意されたイベントに参加するというだけでなく、企画運営にも積極的に関わってみたいと感じてくれた保護者の方々が、これだけ居られるという事実は、今後の展開に向けてのさまざまな可能性を示唆するものであり、大いに注目したい。

注

1) 山之内誠・不破正仁 編著、『三木の町並み -まちの歴史文化資源調査報告書-』、三木市文化遺産活性化実行委員会、2014

2) 「兵庫県ヘリテージマネージャー養成講習会」の受講生を中心に、歴史文化遺産の活用推進等を目的として2004年に構築されたネットワーク